



# Web Fairy Paradise

第11号

今月のフェアリー詰将棋

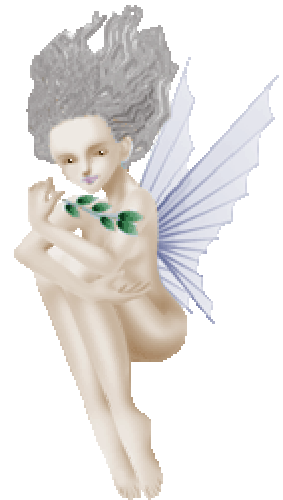
- ・ 第10回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋第22回出題
- ・ OFM 第 147 回出題
- ・ 第 6 回詰四会フェアリー作品展

結果発表

- ・ 第 9 回WFPフェアリー作品展
- ・ Fairy of the Forest#19
- ・ OFM 第 146 回出題
- ・ 推理将棋第21回出題
- ・ カピタン展示室 No.23

読み物

- ・ フェアリー煙詰総まくり 4
- ・



2009 / 5

## はじめに

季節的に寒くも暑くもなく出歩くのには絶好の時候とうことで、別子銅山をテーマにしたマイントピア別子にちょーえりと行って来ました。仕事で行くことは多いのですが、のんびり散策というのは久しぶりです。

新居浜市というのは観光名所がほとんどなく唯一と言っていいのがこのマイントピア別子です。鳥のさえずりが森にこだましてなかなかの癒しポイントです。

ちなみに別子銅山は、日本三大銅山のひとつで、元禄4年(1691)に開抗され、昭和48年に閉山となるまで、283年という長きにわたり掘り続けられ、世界一の産銅量を誇った大銅山でした。新居浜にお寄りの際にはご案内いたしますのでお気軽に声をかけてくださいませ。



(別子銅山旧水力発電所跡)

今月の読み物は、引き続きフェアリー煙詰総まくりの4回目です。場つなぎ的に始めたものですので1作1作もっと詳しく説明できていないのがちょっと心残りです。次号が最終回となります。

神無七郎氏の「奇数手協力自玉詰双裸玉持駒香13手以内」の検討がそろそろ終わりそうと言う事で近々発表できるのではないかと期待しています。ぼちぼち原稿不足に悩まされそうです。

## 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。ページが埋まれば私は嬉しい？読者サロンのような感じで送っていただければと思います。

### 感想

第11号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々のHPアドレス

\* ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

## [ 作品投稿要項 ]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です( 安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

## [ 解答要項 ]

解答締切：平成21年 6 月 18 日

本作品展は、正式発表とし TOP IX の対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

[webfairyparadise\\_you@yahoo.co.jp](mailto:webfairyparadise_you@yahoo.co.jp)

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

## ルール説明

### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます

### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

### 【 Isardam(A) 】

1. 同種の敵駒の利きに入る手を禁止する
2. 成駒と生駒は別の駒として区別する
3. 以上の条件は王手の概念にも適用され、玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない

### 【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

### 【鏡】

玉の利きが、王手をした駒の利きになる

## 【強欲】

攻方、受方とも、駒取りの手があるときは、駒を取らない手を禁手とする。駒取りの手がなければ、駒を取らない手は有効

## 【マドラシ】

同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる。但し、玉は互いの利きに入れない

## 【担当コメ】

余詰や修正情報を過去に解答を頂いた方にはメールにて送信していますがこの仕組みはどうか？ 現在、ブログを利用して即日発表していますがこちらとのダブリ感も否めないんですが。送信する時に解答催促しているみたいを感じるの担当だけでしょうか？ 役に立っていますという方が1名でもいれば継続しようかと思っています。最近、時間の関係で昔みたいに解答メールや投稿メールに即日返信出来ていませんし、ブログでの近況報告もなかなか出来ません。改善はもう少し時間が必要なのでお待ち下さい。後、嬉しい事に投稿数も比較的增加してきましたのでバランス取りを考えて採用予定送信を遅らせる事が長編を中心に今後あるかもしれませんが御了承下さい

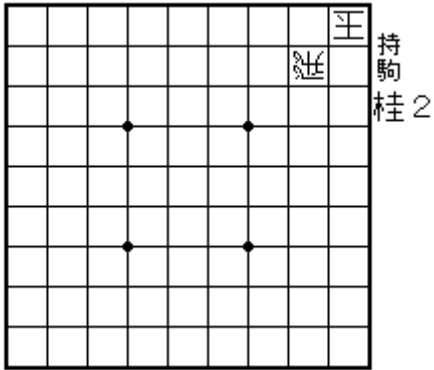
今回は、問題数が少し多く、また Isardam というルール特集みたいになってしまったので解答期間を3日延長しました。全て平日なので微妙ですが……

1番は盲点に入らなければ易いはずですが。担当は少し苦勞しました。2番も手が付けやすいはずなのです。残りは Isardam(A) なのでまだ解いていませんが、全て短い作品ですので初めての人も挑戦してみてください

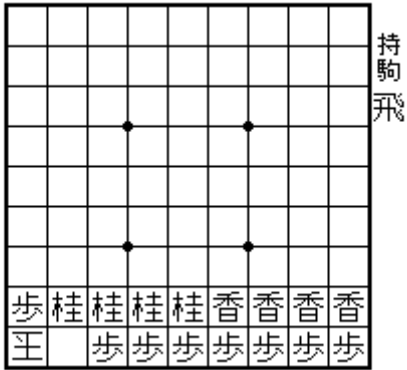
推理将棋ですが少し前に余詰だらけだったフェアリー+推理将棋特集です(1題除きますが) 最初の問題は2解です。他は各種ルールです。頑張っ余詰検索はしていますが駄目かもしれません。推理将棋の余詰は作者・解答を知っている人物には分からない、という定説もあります。それでもかなり見つけて潰しているはず

【フェアリー】

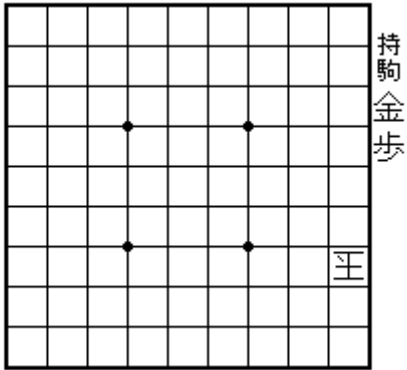
第1番 神無七郎氏作 協力詰 8手



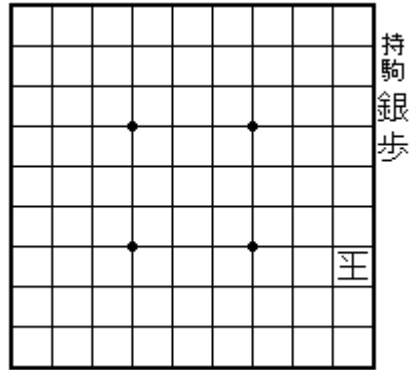
第2番 神無七郎氏作 強欲協力詰 37手



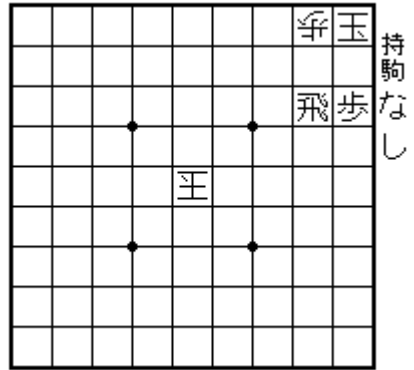
第3番 たくぼん氏作 Isardam 協力詰(A) 7手



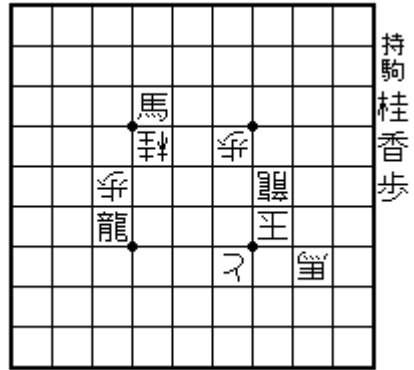
第4番 たくぼん氏作 Isardam 協力詰(A) 9手



第5番 小峰耕希氏作  
Isardam 協力自玉詰(A) 8手



第6番 雲海氏作 Isardam 打歩協力詰(A) 9手



【推理将棋】出題：橋圭伍氏

～2ヶ月後～

日和「1ヵ月のはずが2ヶ月になってしまいましたね」

鏡「まあ、色々あったから仕方ないかな」

美雪「では、私から」

【第5問】

- 1) 11手で詰み@2解
- 2) 後手は56歩と指した
- 3) 終局時、先手の持駒は歩1枚だけだった
- 4) 最終3手は「62角打52玉53角行成」で、最終手が唯一の駒成だった
- 5) (4)以外の8手で互いが動かした駒は合わせて2種類だけだった  
フェアリー系統で面白いのが出来なかった  
ので2解物にしました」

鏡「じゃあ、次は私ね」

【第6問】

- 1) 16手で詰んだ@安南+打歩
- 2) 初形と終局図で異なったのは先手玉の位置だけ
- 3) 動いた駒は、玉飛歩だけだった  
前回の安南打歩を少し弄った作品なんだけど……少し余詰が怖いかな……」

泉「私の出番か！！」

【第7番】

- 1) 13手で詰んだ@マドラシ
- 2) 止めは飛車の手
- 3) 11手目に金取りに打った桂の手に対して後手は12手目にその金を引いた
- 4) 終局時、先手の持駒は3枚だった  
結局、こんな感じになったよ」

日和「じゃあ、早速解くっす！」

美雪「日和さん、作品は出来なかったのですか？」

日和「いや～、このルールだと色々と言われそうなんで……」

鏡「とりあえず、出品しときなさいよ」

泉「だねえ」

日和「じゃあ、そうするっす」

【第8番】

- 1) 8手で詰んだ@鏡
- 2) 終局時、9段目には駒が9枚あった
- 3) 成る手はなかった
- 4) 終局時、先手の持駒は合わせて2種2枚だった」

泉「駄目だよ！そのルールは鏡のだよ！」

鏡「なんでよ！！」

泉「名前が同じだからねえ」

日和「だから嫌だったんすよ…」

美雪「とりあえず、解きましょう」

## 推理将棋第22回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第21回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

([http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html)) をごらんください。

解答、感想はメールで2009年5月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の 題名 は 「推理将棋第22回解答」 でお願いします。

全解答者から抽選で1名に賞品リスト (<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/tenji/shohin.htm>) からどれでも一つご希望のものをプレゼント!

### 推理将棋第22回出題

担当 タラパパ

○術師さんは先月に続いての登場で、3題とも覚え易い2条件。

通勤電車の車内で時間潰しに解くなんてのもありかと。

上級は先月に続いて長編。出題に苦しくなると、こうして自作を使ったりします。

人によっては初級より易しいかも(^^)

なお、作品の投稿もよろしくお願いします。

#### 22-1 初級 ○術師さん作

4筋が急所 8手

4筋への大駒の着手を急がないことです

#### 22-2 中級 ○術師さん作

動いてもいいけど 9手

タイトルに騙されて33飛を動いてもいいと思うと詰みません(笑)

#### 22-3 上級 タラパパ作

玉は最強の攻め駒 12手

先手の指し手の9手までが必然。やはり残るは一手だけ。

### 22-1 初級 まささん作

### 4筋が急所

8手

「たった8手で詰んでしまいました。K九段、講評をお願いします。」

「4筋への大駒の着手2回がポイントだったと思います。不成が出るなど、面白い一局でした。」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？

(条件)

- ・ 8手で詰んだ
- ・ 4筋への大駒の着手が2回
- ・ 不成があった

### 22-2 中級 ○術師さん作

動いてもいいけど 9手

「隣の将棋見てたらさ、33飛って打ち込んで」

「龍になって大活躍した？」

「そんなことはなくて最後まで動かなかつたんだよね」

「何手で終わったの？」

「9手で詰んだかな。後手は同じ筋には続けて指してはいなかったよ」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 33に打った飛車は最後まで動かなかつた
- ・ 後手は同じ筋に続けて指さなかった

### 22-3 上級 タラパパ作

玉は最強の攻め駒 19手

「玉が8連続で直進するなんて、君の戦法は無謀だよ。」

「最高の戦術さ、19手で詰ませたじゃないか。玉は最強の攻め駒なんだよ。」

「たまたま相手の8手目の金の手が悪かっただけだと思うけど」

先手玉は止まることなく、58玉、57玉、56玉・・・51玉と進みました。いわゆるお笑い系手順。

(条件)

- ・ 19手で詰み
- ・ 先手玉が8連続で直進した
- ・ 8手目は金の着手

# Onsite Fairy Mate 第 147 回出題

開催日 : 2009 年 5 月 9 日 (日)  
 解答締切 : 2009 年 5 月 30 日 (土)  
 解答発表 : 2009 年 5 月 31 日 (日)

シン 氏作

PWC協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							馬	馬	二
				王					三
			王						四
				歩					五
				王					六
			兵						七
						香			八
							角		九

持駒 なし

## 【ルール説明】

### 協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

### PWC

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。

ただし二歩や行き所のない駒は復元せず、取った方の持ち駒となる。

本作の解答を E-mail で管理人宛 ( ) にお寄せください。

解答締切 : 2009 年 5 月 30 日 (土)  
 解答発表 : 2009 年 5 月 31 日 (日)

## 【コメント】

詰将棋ではときどき同一、あるいは類似の「命名」を持つ作品があります。

筆者の乏しい記憶を浚ってみても、「古時計」は広沢芳香氏と田島秀男氏の有名な作がありますし、「新世界」は森長宏明氏と平田好孝氏の作品があります。きっと皆さんはもっと多くの例をご存知でしょう。

ただ、命名に関しては「詰将棋」の世界で気をつけるだけでは足りないかもしれません。思わぬ分野で類似した命名を持つ例もあるのです。

一例として「天馬空行」と「天馬行空」を挙げましょう。

「天馬空行」は酒井桂史の有名な作ですが、「天馬行空」とは何でしょう？

実は、これはフェアリー的には非常に重要な作品です。象棋 (中国将棋) の詰将棋 (残局) にこの命名を持つ作品があるのです。ぜひ以下のページで手順を鑑賞してみてください。

詰物アラカルト (10) 中国将棋・残局 黄金環「天馬行空」 (カピタンリバイバル 22)  
<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/kapitan/kp022.htm>

同じ「馬」と言っても、こちらの方はいわゆる桂馬 (八方桂) です。チェスのナイトと違って合駒が利くので、その点に注意して鑑賞してください。

筆者は自作に命名することが少ないのですが、稀に命名するときでも類似の命名の有無は気にしていませんでした。しかし、今やネットで世界中の人が詰将棋を鑑賞する可能性がある時代です。これからは命名についても、類似や衝突を少しは考えて付ける必要があるかもしれません。

さて、今回の出題は WFP などでも活躍中のシン氏の投稿作です。作者は特にキルケ系のルールが強いようで、面白い感覚の作品を見せてくれます。本作にはどんな狙いが隠れているのでしょうか。

(担当 : 神無七郎)

## 第6回 詰四会フェアリー作品展

課題各隅4×4持駒：金銀桂に対し私を含めて3名の方から投稿頂き、作者別の現代版フェアリー四図之作物が出来上がりました。

### 【ルール】

**ばか詰**：先後協力して最短手数で、受方の玉を詰める

**ばか自殺詰**：先後協力して最短手数で、攻方の王を詰める

**安南**：味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

**打歩詰**：打歩以外で詰ませる手を禁手とする

**キルケ**：駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に駒が戻される。戻せないときは持駒になる。

**アンチキルケ**：取った方の駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときはそのまま

**スタイルメイト**：王手は掛かっているが、合法手のない状態。

**最悪詰**：攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。

※注意…初形が各隅4×4の範囲の作品です。他の隅の配置は無視してください。手順や詰手りは4×4の範囲を超えるものもあります。

【解答締切】6月15日(月)

【解答宛先】[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

### ■ ①～④ 卓凡乃四図之作物

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	桂						香	桂	一
香	銀		角				玉		二
歩		歩					銀	歩	三
	歩						角		四
									五
	角						飛		六
		王					玉		七
									八
銀		王					龍		九

持駒 金銀桂

- ① 左上 打歩ばか詰 17手
- ② 右上 ばか詰 7手
- ③ 左下 アンチキルケばか自殺詰 8手
- ④ 右下 安南ばか詰 5手

### ■ ⑤～⑧ 橘圭伍乃四図之作物

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
王						銀	金	歩	王	一
		飛				歩	龍	歩	龍	二
	金					金	銀		龍	三
王						金	銀	金		四
										五
王	龍					歩	王			六
龍	金								桂	七
										八
	金							王		九

持駒 金銀桂

- ⑤ 左上 ばか自殺スタイルメイト 12手
- ⑥ 右上 キルケばか詰 11手
- ⑦ 左下 キルケばか詰 7手
- ⑧ 右下 ばか自殺詰 12手

### ■ ⑨～⑫ 神無七郎乃四図之作物

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
歩	銀	歩	歩			王		銀	一
桂	香	と	龍				桂		二
王	飛	歩	桂				玉	金	三
銀	歩	王	歩				歩		四
									五
			飛				桂		六
王	金	金					角		七
角	桂	桂	歩				王	玉	八
王		飛	銀		龍			銀	九

持駒 金銀桂

- ⑨ 左上 ばか詰 27手
- ⑩ 右上 最悪詰 10手
- ⑪ 左下 ばか詰 27手
- ⑫ 右下 最悪詰 10手

※不明な点がありましたらメールにてお問い合わせ下さい



## 第 9 回 WFP 作品展結果 担当 紅月花煉

### 【前回解説補足】

第 5 番の洞江氏作に関して作者からコメントが追加されましたので追加しておきます。本来は解説者が解説時に聞くべきでした

### 洞江元太氏：

Messigny ばか詰の日本式の件について途中端で歩を入手して75玉／99王、67桂／77桂、と連続で入れ替える順があるので日本式は必要だと思いました。が投稿する時に言うべきでした

引き続き今回の結果稿です

解答者数：5名

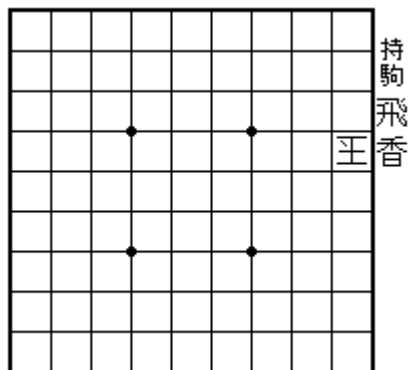
全題正解：雲海氏 たくぼん氏 神無七郎氏

5題正解：隅の老人B氏

感想：シン氏

感想だけをシン氏が送ってくれました。今後もよろしく願います

### 第 1 番 シン氏作 マドラシ協力詰 5 手



### 【作意】

24飛 26飛 25香 13玉 23飛成 迄5手

### 【作者コメント】

マドラシに挑戦してみました。2手目が限定されるところにマドラシのおもしろさがあるのですね。最初の配置は受方44玉、34歩、攻方33歩だったのですが、マドラシの裸玉は珍しいみた

いなので、この配置に変えてみました。多分簡単ですので、客寄せに…（最近客寄せ級のものしかつけれないです…

### 【担当者コメント】

マドラシルールを最大限生かした2手目がポイントになります。27～29に打てば最終手に対して25飛成で受かってしまいます。全てが限定になるのはこの位置だけというのが美しいです。残念ながら同一作品がありました。今後はDB検索を最大限利用して事前にチェックしていきたいと思います

### 【短評】

#### 神無七郎氏：

Onsite Fairy Mate 第37回出題と同一作ですね。  
(<http://www.abz.jp/~k7ro/solve/solution08.html#> 第37回)  
せっかく同一図の検索システムがあるのでから、活用しましょう。入手先はここ→  
<http://www.geocities.jp/cavesfairy/x4cc/download.htm>

#### たくぼん氏：

大九郎さんと同一作とは自信を持っていいですね。本当に好作です

#### 雲海氏：

7～9段目だと最後25飛成で23龍が石化されて失敗。担当者様の仰る通り易しくてよかったです

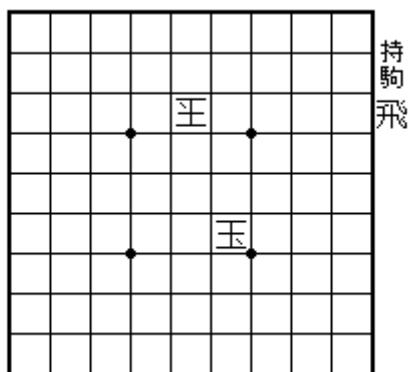
#### 隅の老人B氏：

殺すも生かすも腕次第。5手でも、けっこう苦勞する

#### シン氏：

同一作が出てしまいました。どうして気付かなかったんでしょう…。本当に申し訳ありませんでした

第2番 シン氏作 PWC協力自玉詰8手



【作意】

59飛 58角 同飛 /59角 57角 同飛 /58角  
55飛 同飛 /57飛 同飛成 /57飛 迄8手詰

【作者コメント】

上で言った通り最近スランプ気味なので、昔のものを引っ張り出してきました。これはつくったというより、見つけたものです。暇つぶしに適当にFMに図面を入れたら、この手順が出てきて、びっくりした記憶があります。自分がしたことといえば、バランスをとるための玉位置調整ぐらいで、手順は全くいじっていません。自作とはいえないのかもしれませんが、よろしくお願ひします

【担当者コメント】

事前に角の連続合で逃げ道を封鎖しておいて55飛 同飛 /57飛 同飛成 /57飛として詰め上がります。生駒が成駒によって1手前に取れた駒が取れなくなるのはPWCでは良くある手筋ですがそれがこの形で此処迄綺麗に実現できるので、すからこの世界は本当に奥が深いです

【短評】

神無七郎氏：

成駒作成による逆流防止の手筋が究極美形で実現。いや、こういうのがあるから詰将棋探求はやめられません

たくぼん氏：

最初駒を取らないとは意外な展開でした。持駒香でもいけるのかな

雲海氏：

(双)裸玉を解くのは苦手ですが、3段目に打つのは成生の非限定がありそうだから、おそらく51飛か59飛だろう、と決めこんでなんとか解けました

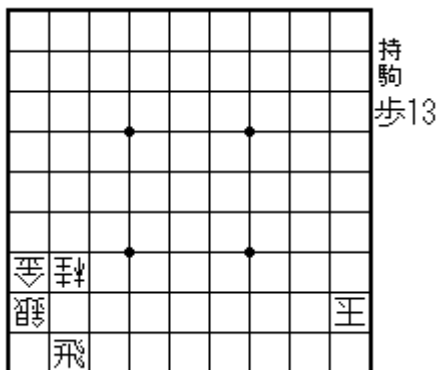
隅の老人B氏：

連続の大駒合が素晴らしい。これも飛角図式？

シン氏：

こちらまで同一作があったらと思うと…。短評はちょっと控えさせてください

第3番 神無七郎氏作 強欲協力詰43手



【作意】

19歩 28玉 29歩 19玉 28歩 同玉 29歩  
38玉 39歩 29玉 38歩 同玉 39歩 48玉  
49歩 39玉 48歩 同玉 49歩 58玉 59歩  
49玉 58歩 同玉 59歩 68玉 69歩 59玉  
68歩 同玉 69歩 77玉 87飛 同銀生 89桂  
76玉 77歩 85玉 97桂 95玉 96歩 同銀成  
85金 迄 43手

【作者コメント】

単純な呼び出し物ですが、7段目に玉が行くと87飛とせざるを得なくなるという理由で壁駒配置を省略できました

【担当者コメント】

初期の段階では87に桂がいる為に7段目には行

く事が出来ないという単純な仕掛けによる趣向作品。収束迄綺麗に決まって美しい軽趣向になっています

【短評】

たくぼん氏：

Fairy of the Forest#19-05 と似たような感じで最後まで意外とあっさり纏めましたね

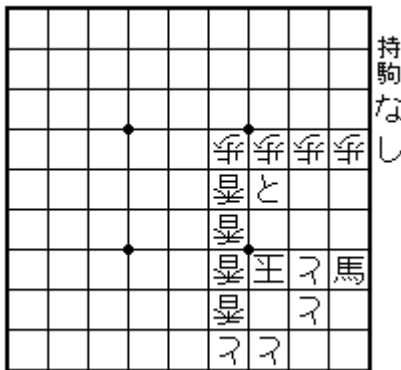
雲海氏：

収束の銀生～銀成が巧いです

隅の老人B氏：

趣向に気付けば簡単？収束も上手くできてる、難しい。飛車も消えたぞ、流石、流石の七郎さん

第4番 神無七郎氏作 取禁協力詰63手



【作意】

26馬 38玉 37馬 29玉 38馬 18玉 29馬  
 17玉 18馬 26玉 25と 16玉 15と 26玉  
 16と 35玉 17馬 26と 25と 36玉 18馬  
 27と引 35と 37玉 19馬 28と 36と 27玉  
 37と 17玉 18馬 16玉 27馬 25玉 36馬  
 16玉 25馬 17玉 27と 18玉 17と 19玉  
 18と 29玉 19と 38玉 29と 27玉 38と  
 18玉 36馬 17玉 27と 18玉 16と 27と引  
 17と 28玉 18と 38玉 37馬 29玉 19と  
 迄 63手

【作者コメント】

OFM第142回出題

(<http://www.abz.jp/~k7ro/solve/solution29.html#142>)

の副産物。詰上りは同じですが、場所が狭いため丁寧に駒の繰り替えを行わなくてははいけません

【担当者コメント】

実は密室物を解くのが担当は非常に苦手です。なので、この作品が凄く難しく感じたのですが、そうでもなかったみたいです。最終形が比較的に見えやすかったからかもしれません  
 手順ですが142回出題の副産物というだけあって途中の手順は似ていますが、最後に開き王手により巧くと金を1筋に展開する処が密室物ならではの手順なのかもしれません

【短評】

たくぼん氏：

いつものように29手目より18馬 38玉 29馬 27玉 37と 以下進めて4手オーバー。開王手を利用する順は上手い一言です

雲海氏：

OFMの問題と似ていますね（私は鑑賞しただけですが）。副産物でしょうか？

隅の老人B氏：

一瞥、これが詰むの、詰むとしたら、どの位置で？中段 OR 下段、どちらかな、本命15、対抗19。後はひたすら闇雲流、ようやく詰んだら、また外れ。外れはパラのヤングで慣れている。万馬券とまでは言わないが、きつと中穴、配当金は幾らかな？

シン氏：

解けませんでした、感想を送ります。詰上りを19とまでに絞り、それまでの手順を考えるも、なかなか手順がうかばない。さて、どうやったらこの詰めあがりにもっていけるのだろうか？とうんうん考える。光が差し込んで消え、が続き、やっと詰んだ！やったぞ！こんな長手数解けた！と喜んで手順をみると、あれ・・・2手オーバー。数え間違いかなあ・・・？はい、数え間違えではありませんでした。落胆。それから短縮手順を考えるも、結局できず。ここまでです。

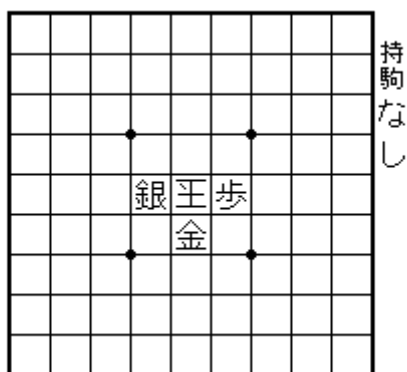
第5番 たくぼん氏作 強欲協力詰83手



【作意】

44龍 22玉 21と 12玉 14龍 21玉 11龍  
 同玉 12歩 同玉 13歩 同玉 14歩 同玉  
 25角 同金 15歩 同玉 16歩 同玉 17銀  
 同玉 18飛 同玉 28と 同玉 38と 同玉  
 49金 27玉 38金 26玉 37金 35玉 36歩  
 同金 同金 同玉 27金 46玉 37金 45玉  
 54馬 同玉 66桂 53玉 62銀生 同玉  
 71銀生 同玉 72歩 同玉 83歩成 同玉  
 95桂 94玉 86桂 95玉 84銀 86玉 77金  
 同玉 78金 66玉 75銀 57玉 47金 同玉  
 59桂 56玉 67金 55玉 47桂 65玉 66銀  
 54玉 65銀 43玉 55桂 44玉 45歩 55玉  
 56金 迄 83手

詰め上り



【作者コメント】

こちらが本命の都煙詰。序と収束で考えどころがあると思います。43歩を残して追うところと収束の47金捨てがポイントです

【担当者コメント】

最初に11と等の紛れがありますが何れも手順前後が可能な形になるので11龍・同玉の形は直ぐに行き着くと思います。此処から暫くは一本道です。46手目が本局最大の紛れでこの煙が見えていると43歩を残す展開は指し難いと思います。残すのは65銀に対して43玉と逃げる為なので相当追わないと分かりません。其処を過ぎると、桂の打ち方にも細かい綾があり詰め上り迄は比較的すんなり行くのではないのでしょうか？最終形は通常ルールでは絶対不可能な形です

【短評】

神無七郎氏：

なかなか一筋縄ではいかない強欲煙。普通の詰将棋では実現不能な詰上りが良いですね。序盤から細かい配慮が必要ですが、45手目近辺がひとつのヤマ。桂の打ち方や43歩が残留する不安で少し迷わされます。収束は都詰と決め打ちして解いたのですが、そうでなければ紛れに嵌って苦労したと思います

雲海氏：

今回は浮遊感がある手順が続いて解きづらかったです

隅の老人B氏：

上手くできて、中盤以後に苦労しました。二者択一、どちらを取るのと、王へのご機嫌伺い。消えるかな、43歩。消えました、お見事！ここで、創作、解答に大活躍のたくぼんさんに質問

- 1 この作品の創作時間は？
- 2 真面目に仕事はしているの？
- 3 奥さんから、何か言われたいの？

【推理将棋・PG部門】

第1番 ミニベロ氏作→出題取り消し

第2番 橋圭伍氏作「王手の行方」

→余詰（指摘者：雲海氏）

日和「泉先輩、13手で詰まされましたねえ」  
 美雪「取られたり、動いたりした駒は3種類

しかなかった上に、駒を成る手すらなかったにも関わらず詰まされるとは流石ですね」

日和「先手の鏡先輩が自玉の頭に駒を打ったら、1筋に居た玉がまさか詰むとは思わなかったすよ」

美雪「両者共に2回ずつ王手をしましたが、全て同種の駒でしたね」

注) 王手した駒は、開き王手の場合、軸駒(22角33桂の形で45桂と88玉に王手した場合、角で王手したと考えます)・両王手の場合、任意の一方と考えます。(飛角のバッテリーで両王手した場合は飛でも角でも良い)

### 【作意】

76歩 42玉 33角生 同玉 68玉 24歩 77玉  
23玉 66歩 68角 同玉 12玉 67角 迄13手

### 【作者コメント】

某コミュ内でも強豪解答2名が作意解答で手順前後可能の指摘もなかったので気づきませんでした。失礼しました。修正は簡単ですが少し考慮します

### 【担当者コメント】

この手順前後に気付いたのが1名でした。粗検陳謝です

### 【短評】

神無七郎氏：

玉の開き王手で手数を節約するのが巧妙。24歩のところ77角の紛れにも誘われます

たくぼん氏：

この形か14玉で33角、58角型しかないと思う。14玉型は後手の2回の王手がカバーできない。難易度もほどほどで楽しめる内容です

雲海氏：

多分解けましたが…1手目と3手目、2手目と4手目の手順前後が可能ですよ。有名な詰め上がりですから、見落としていたとは考えにくいですし、作意だとしても手順前後可

能であることは気づくはずですから、間違っているかもしれませんが一応この手順でお送りします

### 【総評】

神無七郎氏：

自作を解かなくて良いせいもあるのですが、今月は思ったよりも解図が楽でした(花粉の飛散が少なくなったせいもあるかも)まだ推理将棋の方は解いていないのですが、同一作もあったので、こちらだけ先行して解答を送ります

たくぼん氏：

今月は担当の言葉とはうらはらに意外とすんなり解けました。私の作品の難易度はよくわかりませんが……。ミニベロさん登場はWFPにとってうれしい出来事です。いや苦しめられるかな??

雲海氏：

同一作は残念ですね。最低でも裸玉と双裸玉くらいはデータベースで調査した方がいいと思います。担当者の負担を考えると、投稿者が投稿前に調査をするべきかな

シン氏：

解答を送るはずでしたが、一問も解けず(しかも1問しか解こうとしていない)悲惨な状態ですが、自作の同一作の件についても一緒に、コメントを送ります

開催日 : 2009 年 4 月 12 日 (日)  
 解答締切 : 2009 年 5 月 2 日 (土)  
 解答発表 : 2009 年 5 月 3 日 (日)

伊達 悠氏作「Mr.麻生の景気対策」

Isardam打歩協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							皇		三
								王	四
							皇		五
							皇		六
									七
									八
									九

持駒 香

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

Isardam (タイプA)

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。

成駒と生駒は別の駒として区別する。

以上の条件は王手の概念にも適用され、玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。

打歩

打歩以外で詰める手を禁手とする。

【手順】

19 香 18 歩 同香 17 龍 同香 13 香 16 飛  
 24 飛 15 歩 まで 9手

伊達 悠氏作「Mr.麻生の景気対策」

Isardam打歩協力詰 9手 (詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							皇	皇	三
							皇	王	四
							皇	歩	五
								飛	六
								香	七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

フェアリーをやるひとつの楽しみは、普通の詰将棋では絶対にできないことや、不可能ではないけれどもかなり無理があることが、いかにも当然のような顔をして出てくることです。ルールが違うのですから妙なことが起こるのは当たり前と言えれば当たり前なのですが、見たことのない詰上りや手順からもたらされる倒錯的な感覚はフェアリーの魅力の一つでしょう。

本作で言えば「香飛歩」が隙間も遮蔽物もなく縦に並んだ詰上りが正にそれです。性能を共有する駒同士が同じ方向の利きの上に並ぶ詰上りなど普通のルールではとても考えられません。Isardamならそれがいとも簡単にできてしまう——それを端的に示したのがこの作品の最大の特長と言えるでしょう。

手順は初形から手が非常に限られているので迷うところは少ないと思いますが、何しろ Isardam (特にタイプA) のルールは癖が強いので、注意しながら解かなくてははいけません。例えば、7手目 16 飛のところ、34 飛 24 合 15 歩 などとすると「15 同玉」で逃れてしまいます (13 香が依然として利いていることに注意)。作意順なら取るのは飛、守るのは香なので「15 同玉」とはできないわけです。他にもいくつか紛れがありますが、いかにもそ

れらしい手順を優先して探せば、香の頭に飛、飛の頭に歩という奇妙な手順で王手になる Isardam 特有の手順を楽しむことができましたと思います。

ところで、作意手順の明快さに比べ命名の方は難解で、作意解はひとつもありませんでした。実は命名の意味はここから来ています。

景気対策 3 段ロケット

( <http://www.kantei.go.jp/jp/keizai/index2.htm> )

つまり、縦に並ぶ「香飛歩」を「3 段ロケット」に見立てたわけですね。

ただ、ロケットというと某国の「飛翔体」があまりにも有名になってしまいましたし、景気対策の方も「総額 75 兆円」という数字の方がインパクトが強いせいか、「3 段ロケット」の呼称はあまり使われなかったように思います。

時事ネタは風化が早いので、ちょっと時間が経つと意味が分からなくなってしまうのですが、この命名は現時点でさえ解読が難しいみたいです。

【正解者及びコメント】（解答 9 名、正解 8 名：到着順）

**香箱さん**

お久しぶりです、香箱です。お題のココロは八方塞がり。

☆ 香箱さんは即日解答。しかも到着は出題当日の 19:23 という早さでした。命名の解釈は「八方塞がり」ですが、これも何だかテーマになりそうですね。本作は八方のうち 3 つの空所を塞ぐだけですが、八箇所全部空所で、それを塞げたら凄いなと思います。

**橘圭伍さん**

11 香～ 12 飛がルール特有の展開ですね非常に難しすぎて完全には未だ解けていませんが…

☆ すみません。実は橘さんの解答は誤解でした。

いつもなら誤解答は連絡して再解答を求めますが、「24 飛」だけ見て正答と思い込んでしまったのです。

誤解の手順は以下の通り。

19 香 18 歩 同香 17 龍 同香 11 香 12 飛 24 飛 15 歩迄 9 手

12 から飛を打っているため、24 飛が受けになりません。（14 香も 14 飛成も防いでいない。）

この手順の 12 飛は「飛と香による両王手」という Isardam らしい手筋なので、読者の参考のためここに引用させて戴きました。

失礼の段、どうかお許してください。

なお、再解答を求めていればすぐに正答を送り直して貰えたと思うので、解答番付には正答として加点させて戴きます。

**隅の老人 B さん**

144 回の解説を読んで、このルールに挑戦。

正解 or ダメ？、全く自信なし。

これも一時の暇つぶし、まあ良いかです。

☆ 見事正解です。

初めてのルールは正解を答えても自信を持ってないことがよくあります。

今回は上に書いたように誤答の見落としをやらかしてしまいましたが、このサイトへの解答は、誤解の場合（原則的には）通知が来るので安心…と思ってください。

（多少の誤記なら通知せずに正答として処理することもあります。）

**たくぼんさん**

飛を上から打つのが気付かなかった。初日には解けませんでした。

どうもこのルールは相性が悪いのかもしれない。周りを埋める手順はユニークですね。

☆ たくぼんさんが即日解答できないということは、実は結構難しいのでしょうか。

まあルールに少し慣れれば、いつもの瞬殺解答モードが発動するのでしょうか。

**雲海さん**

攻方の着手が 19、18、17、16、15、

と上へ1段ずつスライドしているのが面白く感じました。また、打歩詰の第1人者らしくルールの特性を生かした打歩詰ですね。飛に縦の利きがあり、玉がその飛と同じ筋にいて、その縦の利きに歩を打って詰ますのは初めて見ました。配置も上下にスライドできないことがわかり、巧くできていると思います。ところで命名ですが、さっぱりわかりません！定額給付金をいじって、『給歩』とか？ちょっと苦しいですかね？

☆ 確かに1段づつ上昇してますね。この上昇をロケットと見なせば、命名の「作意」に最も肉薄した解答になったと思います。定額給付金が出たら私はCDをネット通販でまとめ買いする予定だったのですが、そう言えばまだ申し込んでいませんでした。全然景気回復に貢献していませんね、私。

#### 小峰耕希さん

詰上りが不可能局面（伝統規則的に）になっているし、ルールを生かした詰上りではないかと思えます。Isardamは巢籠りで詰むというパターンが多そうですね。

☆ ルール特有の性質を活かした詰上りをチェスプロブレムでは「フェアリーメイト」と呼びます。やはり新しいルールができた初期のうちには、こういう素直な表現が良いですよ。フェアリーメイトを紛れに隠すようなひねくれた作が出始めたら、そのルールが普及した証拠ですが、Isardamもそのくらい盛り上がるでしょうか。「氾濫 30」ではIsardamを2つ出題するの、その反応が楽しみです。

#### 花井秀隆さん

香の利きを飛車で止めるのが盲点になっており、かなり悩みました。

☆ 悩まされたら、次は自分が悩ませる番ですね。若いうちは悩む側（解答）と悩ませる側（創作）は、同時に行うことをお勧めします。本当は若くなくてもそうした方が良いのですが、社会人になるとなかなか手が回らなくなりますからね。

#### 洞江元太さん

当初は最終手歩打ちで香の効きか何かを遮断して詰みかと思っていました。結局直感が外れてそのままにしていたところ後輩のH君から解けたとのメールがきたので解図に取りかかったところ案外すぐに解けました。題意はよく分かりませんが麻生総理が周りを固めた（けど意味が無かった）ってことでしょうか？

☆ 「解けた」はそれ自体が重要なヒントですからね。少し話が逸れますが、詰将棋劇場blogで広沢芳香氏作「古時計」（1011手）が、簡単に修正可能だという記事が掲載されましたが、あれも誰かが「簡単に修正できるんじゃない？」と言っていれば、とっくの昔に修正図が提案されていたと思います。私も「古時計」より修正が難しいはずの「古時計II」を平井氏が修正しているのを見て、修正の試みを始めたのです。（そして、結果的にはほとんど何もしなくても完全作になっていた…）解図でも、まずは「解こう」という気になるまでが一番大変なのかもしれません。

#### 瘋癲老人さん

香も飛車も同じ使い方（退路封鎖）なのが少し面白くないところです。

☆ 意味付けが同じ手が続くときの作家の対処法はいくつかあります。意味付けの多様性を増す、単一の意味付けを徹底的に繰り返して強調する、意味付け自体を凝ったものにする等です。グルメ解答者、瘋癲老人さんを唸らせるような作品の投稿をお待ちします。

☆ まだ作例の少ないIsardamの出題でしたが、やや易しめだったおかげか、9通の解答が集まりました。後一步で二桁解答に届きませんでしたが、Isardamの奇妙な世界の片鱗をこの作から感じて戴けたのではないのでしょうか。これからどんな展開が待っているのか楽しみです。なお、次回も投稿作品の出題を予定しています。一桁手数なので、多くの解答が寄せられるのを期待しています。（2009.5.3 七郎）



# Fairy of the Forest #19 結果発表

- 2008年 02月 18日：課題発表：最終手＝香（協力詰）
- 2008年 04月 15日：投稿締切
- 2009年 04月 18日：出題
- 2009年 05月 15日：解答締切
- 2009年 05月 18日：結果発表

## ■ 結果発表

「最終手＝香」というのは難しい課題だと思いましたが、何とか5作集まりました。常連の七郎・たくぼん両氏に加え、新顔のシン氏から投稿があったのは収穫でした。

解答の方は5名。相変わらずの状況ですが、少数でも楽しんでいただける方がいらっしゃるの嬉しいことです。ぽこ氏が初解答。

ぽこー OFM → WFP からこちらを知り少しづつ解いていましたが（といつつ全然解けません^^;）、今回珍しく数問解けましたので参加させていただきます。

今後ともよろしく願います。

### 【今回の解答者】

（敬称略、到着順、○は全題正解者）

- 神無七郎、○たくぼん、○雲海、ぽこ、
- 隅の老人B

酒井博久

## ■ 19-01 たくぼん 協力詰 5手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二					飛					
三						王		雀		
四										
五					角	銀		銀		
六										
七										
八										
九										

### 持駒 香

44 銀 32 玉 34 香 23 玉 33 香成 まで5手

雲海ーワーイ、両王手！ 驚きました。

隅の老人Bーワン、ツー、パンチ。2度目のパンチがじっくりと利く。

神無七郎ー香を温存したくなる課題をうまく逆用。もちろん角筋を止める不利感もありますけどね。

☆角筋を遮る駒打ちは作者の得意技の1つですね。

ぽこーまったく見当がつきません（汗）

手数都合上、1手目と3手目は銀（角は動きそうにない）の着手だと思いますが、その程度しか…。

☆最終手香打でないのは本作だけでした。その点も意外だったのでしょうか？

## ■ 19-02 たくぼん 協力詰 11手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七							角	桂		
八								卒	王	
九							桂	桂		

### 持駒 銀香

19 銀 29 玉 18 銀 39 玉 28 角 同玉  
29 銀 27 玉 28 香 17 玉 18 香 まで11手

神無七郎ー（疑問）「なぜ、28成香なのだろう？」ー（結論）「短評のネタを提供するために違いない！」

☆ 28成香は香でも大丈夫そうですが…。

たくぼん（作者）ー 28香だと単に取られるだけの駒に見えると思ったというのが理由でした。でも成香にしてもさして紛れ数が増えるわけでもなく独りよがりでしたね。「なぜ成香？

という短評を期待する」の方が話としては面白いですが…。

**隅の老人B**—成香を取るのだな、これで指し手が決まります。

**雲海**—解を得たとき、強欲っぽい手順だな、と思ったら、本当に強欲協力詰でも大丈夫ですね。紛れがある分、普通の協力詰の方がいいと思います。

☆「強欲」というのは「取ることができる場合は取る一手」というルールでしたかね。確かに成立していますが、やはり普通の協力詰にするほうが良さそうですね。

**ぼこ**—19 銀、29 玉、18 銀、38 玉、29 銀、39 玉、28 銀、38 玉、39 銀、29 玉、38 銀、18 玉、19 香まで13手（香り）…という方向性だとは思いますが、2手縮める方法が分かりませんでした。

☆うーん、残念。成香は銀ではなく、角で取るのでした。

■ 19-03 シン 協力詰 13 手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
										四								
								桂		五								
							飛			六								
						飛			玉	七								
										八								
									香	九								

持駒 香

19 香 18 銀 同香 同玉 19 銀 17 玉  
28 銀 26 玉 19 銀 28 香 同香 17 玉  
18 香 まで 13 手

**シン（作者）**—銀引きの感触はよいのではないかと考えています。しかし、2手目角合の紛れが皆無に等しいのと、25 桂という醜悪な駒があるのでは、まだまだ新人と言われても仕方な

いですね。

☆ 25 桂がないと、2手目 18 金、同香、同玉、19 金、17 玉、28 金、26 玉、18 玉、27 飛、同香、16 玉、17 飛までの余詰が成立します。

かと言って、47 飛を別の所に置いても今度は別の余詰筋が生じるので、25 桂の追加はやむを得ないところでしょう。

**神無七郎**—19-02 と2枚の飛配置が大きなヒントになるので易しい。まあ、課題が最大のヒントなのですが。

**雲海**—また同じ詰め上がりが出てきました。この詰め上がりが創りやすいのかな。

**たくぼん**—この作品があるのだったら19-02は取り下げたらよかったかも。銀のスイッチバックも入り素晴らしい出来です。

☆さすがに、詰上りが同じになるのはまずかったですかね。

**ぼこ**—銀合は割と早く気がつきましたが、その後の銀の往復が気づきにくいけど面白い動きですね。

**隅の老人B**—取られたら、取り返せ。香の中合、銀の動きも面白い。

☆易しいながら、銀の動きは好評でした。

■ 19-04 シン 協力詰 31 手：受方持駒無し

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
								歩		四								
							歩	香		五								
							歩	玉		六								
							歩	香		七								
										八								
								歩		九								

持駒 香

17香 25玉 26香 同玉 28香 27香  
 同香 同玉 28歩 26玉 27歩 25玉  
 26歩 同玉 29香 28香 同香 27香  
 同香 17玉 19香 18歩 同香 同玉  
 19歩 17玉 18歩 16玉 17歩 15玉  
 16香 まで 31手

**シン (作者)** - 「受方持駒無し」という条件を、単なる余詰防ぎだけでなく一種のルールとして見られるようなものを作ろうと思い作図をやり始め、最終的にこんなに長くなってしまいました。

手数が増えた分、5、6手目の「持駒そのままに玉位置変換」など、やりたいことはできたので、初挑戦の中編としてはまあまあでしょう。しかし、みなさんの中編に比べたら見劣りしますね…。

☆いえいえ、結構な出来だと思いますよ。

**隅の老人B** - 初手に合駒、奇妙だな。王方は持駒なし、でした。気を付けて問題を見ましようよ。

**雲海** - 初手はどこに打つのかな？ なるほど、20手目で玉が1筋に逃げられるための短打(17香)ですか。

**神無七郎** - 持駒制限から特殊な詰上り(香打に対し二歩で合駒がない形)を予想したのですが、普通の詰上りでした。でも、初手香短打のミニ伏線は好印象。

☆効果が現れるまで割と長いぶん、印象は強くなります。

**ぼこ** - 最初は初手の短打に気づかずに苦しみ。気づいた後は、『最終形：29香、19歩、18香』の形から頭が離れずにどうしても2手縮められず。かなり悩みました。

**たくぼん** - 香合と歩の行進が楽しい作品。31手にするのも結構難しい。

**シン** - 2桁以上のフェアリーは滅多につくらない、つくれない私には、中編、長編講座があると非常にありがたいのですが、それは無理なお願いしようね……。 (誰かやったださ

る方はいらっしゃいませんか?)

☆本当にどなたかやっていただけませんか？

■ 19-05 神無七郎 協力詰 63手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
																			一
																			二
																			三
																			四
																			五
																			六
																			七
																			八
																			九

持駒 香

19香 18香 同香 27玉 29香 28香  
 同香 18玉 27香 同玉 29香 28香  
 同香 37玉 39香 38香 同香 28玉  
 37香 同玉 39香 38香 同香 47玉  
 49香 48香 同香 38玉 47香 同玉  
 49香 48香 同香 57玉 59香 58香  
 同香 48玉 57香 同玉 59香 58香  
 同香 67玉 69香 68香 同香 58玉  
 67香 同玉 69香 68香 同香 77玉  
 79香 78香 同香 68玉 76香 67玉  
 69香 77玉 78香 まで 63手

**神無七郎 (作者)** - 課題設定から「全着手香」に挑戦しようかとも思ったのですが、さすがに無理があるので「攻方全着手香」にしました。

☆テーマに忠実な作品だと思いました。趣向作でまとめてくるのも作者らしいです。

**たくぼん** - 珍しく？素直な収束でちょっと拍子抜け？？ いえいえ十分満足です。

**雲海** - 意外と素直(?)な手順で易しかったです。

**ぼこ** - 今回の5題の中で一番早く解けました。手が限られている上にテンポがよく解きやすかったです。

☆「n9 香打、n8 香合、同香、(n+1)7玉、(n+1)9香打、(n+1)8香合、同 香、n8 玉、(n+1)7香、同玉」という 10 手 1 組の手順を繰り返しながら、玉を左辺に移動させます。67 玉とするまで、 $10 \times 6 = 60$  手かかりますが、59 手目 76 香で香を 1 枚補充しているので、以下は香打で簡単に詰め上がります。

**隅の老人 B**— 10 手で一路右に動く、楽しい趣向を有り難う。強欲詰では歩、どちらが先に出来たのかな。

☆これは OFM 第 143 回出題の七郎氏作のことでしょうか？時期的に考えて、あちらが先だと思えますが。

#### 【総評等】

**たくぼん**—今回は七郎さんののが簡単だったので楽でした。

香が主題の作品は創るのが難しい中、なかなか楽しめました。成香 (=金) の反則を使ったのは私だけでしたね。

☆「反則」とまでは言えないでしょう。香でもよかったわけですから。

**シン**—香車のおもしろさに少し目覚めました。大駒じゃないけど小駒のようにちまちましていない。香は意外といいヤツなのかもしれません。

☆指し将棋で串刺しを食らうと嫌なものですけどね。

**ぼこ**—全体的に『最終手：香』というのが大きなヒントになっているので解く気がおきやすかったです。（あとはフェアリーに慣れていないので、協力詰以外はまだちょっと…というのがあります）

そういえば、解けなかった問題は両方たくぼんさんの出題。WFP9のあとがきでも協力詰は 1 問も解けなかったし…相性悪いのでしょうか？（汗）

☆たくぼんさんにご相談ください（笑）。

**隅の老人 B**—明日出来ることは、今日はしない。先の短い老人なのに、こんな主義で生きている。困ったものです、気がつけば、15 日、締切日。ようやく全問が解けた？

☆私も似たようなものです。いつも締切に追われている…。

## Fairy of the Forest #20 課題発表

■ 2009 年 05 月 18 日：課題発表：単玉の無防備図式（協力詰）

□ 2009 年 07 月 15 日：投稿締切

□ 2009 年 07 月 18 日：出題

□ 2009 年 08 月 15 日：解答締切

□ 2009 年 08 月 18 日：結果発表

#### ■ 課題発表

**神無七郎**—ところで次回の課題ですが、神無三郎さんの言っていた趣旨からすると、単なる「無防備図式」ではなく「無防備+単玉」が正確ですね。

協力詰（特に長編）は余詰防ぎに攻方の王を使うことが多いので、単玉で（攻方の王を使わずに）どれだけ高度な表現ができるかが、作家の腕の見せ所となります。

すでに七郎氏から「無防備図式」の提案があり、他に提案もなかったのも、これに決めます。ただし、上記のとおり「単玉（双玉不可）」という条件を加えます。神無三郎さん云々というのは、三郎氏に単玉無防備協力詰の長手数作（未発表）があり、どこまで記録を伸ばせるかが話題になったものです。

多数の投稿をお待ちしています。

宛先→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

# 詰将棋メモ

## 推理将棋第 21 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2009 年 4 月 4 日

解答締切 : 2009 年 4 月 20 日

### 21-1 初級 ○術師さん作 打歩のリクエスト 11手

「いやあ、歩を持ってくれたから打歩詰で反則勝ちかと思ってどきどきしたよ」

「気がついてよかったよ。歩を打つのと違う手で詰んでよかった」

「11手で不成が4回とはあまりないよな」

「8手目と同じ筋に指した9手目がポイントだったか？」

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
  - ・ 11手目に歩を打てば打歩詰だったが、別の着手で詰んだ
  - ・ 不成が4回あった
  - ・ 8手目と9手目は同じ筋の着手だった
- ※ 危なく指そうとした打歩詰の手は「二歩」ではありません。念のために。

#### 出題のことば (担当 タラパパ)

後手は意外な駒で先手の歩を取ります

#### 推理将棋 21-1 解答 担当 タラパパ

▲7六歩、▽4二玉、▲3三角不成、▽3二玉、▲2二角不成、▽3三桂、▲3一角不成、▽2五桂、▲2二銀、▽3七桂不成、▲2一角まで11手で詰み

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金		金	角	角	皇	一
	飛					王	銀		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	科	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

作者 「あまりなさそうな筋で1問作ってみたかった、という問題です。初めて推理将棋の問題を作ったので、打歩回避+後手の桂が活躍するという手順を作ってみたかった、というのが当初の狙いです。当初は「不成3回」という条件の別手順だったのですが、すぐに余詰が生じ、余詰だった本譜を正解として、他の条件も整理しました。「はなさかしろう」氏に検討いただきましたが、際どい余詰筋がたくさんあったのでベテランの方々にかかったら余詰が出るかとも思いましたが、チャレンジで投稿してみました。」

詰将棋の世界でもっとも魅力的なテーマといえは打歩詰。それを推理将棋の世界で作ると、普通は玉方の利きがなく、かつ玉の周りを囲い易い53地点が選ばれるものですが、「どっこい、そんな単純なことはしませんよ」とばかり、3筋で手順を構築する意外な手順でした。

角桂2枚の利きで守られる33地点は、打歩詰テーマではいかにも使いにくい筋なのですが、22角を詰方に取りらせて止め駒として使い、もう一枚の21桂を、ぼんぼんと跳ねさせて取歩駒として使う。まさに一石二鳥(不成を併せると一石三鳥?)というべき21桂の活用はお見事でした。

初登場とはいえ、テーマを決めた創作姿勢やコメントから、推理将棋にかなり精通されていることが伺われます。

**ミニベロ** 「思いつき5筋にハマりました。手順としてはかなり古典的ですが、「不成り4回」は危険な筋をすべて消した旨い条件付けです。」

■やはり5筋から入りますよね。

**まさ** 「3筋とは意外でした。」

■慣れた人ほど3筋は考えにくい筋だと思います。

**高坂研** 「まさか「33歩で打歩詰」の局面が作れるとは思わなかった。完敗です。」

■33歩ですものねえ。短時間では思いつきません。

**躑躅** 「2と3は全然難しくなかったんですが、これだけ分かりません。」

■最短手数の本局が正解率を見ると最難関だったようです。我ながらアテにならない難易度設定(涙)

**はらたつと** 「意外な駒で歩を取るというヒントで「桂」であることは分りましたが「歩を打つのと違う手で詰んだ」の意味を取り違えました。最終手が「33歩」だと打ち歩詰めになる場合「33〇←歩以外」という着手じゃなきゃダメと思い込み随分悩みました。(なので、銀は最終手という発想から逃れられず・・・)別筋の着手でよければ、と考えたらすぐだったんですが。」

■自分でも何度か経験があるのですが、問題の勘違いというのはどうしても起きてしまいます。予測がつけば注釈を入れるのですが・・・。

**渡辺** 「生5回で8、9手目が違う筋なら、すぐに出るんですけどね...。ヒントから桂と角以外(本命は歩)と思っていたので余計に時間がかかりました。」

■ヒントが足を引っ張っちゃいました? ところで、生5回で8、9手目が違う筋・・・まったく判りません(汗)

**〇術師** 「難問揃いと表された中で自分の出題を採用いただいたので、「これで1問解答を確保できた」とホッとしました。一風変わった狙いとは思いますが、皆様の評を待ちたいと思います。」

■たしかに今月の問題での1問確保は貴重(笑)それも最難問

**リーグ戦ファン** 「不成3回が2種類等、いくつも筋があるのに、不成4回は難しい。きちんと5筋や33香打の紛れ筋を踏んでからやっと正解に辿り着きました。簡易な条件で、もっとも美しい仕上がりの本筋に限定できてしまうところ、素晴らしいです。」

■33香打の紛れですか。こちらの手順が判らないのですが(涙)、なんだか凄そう。

**鈴木康夫** 「3筋で37桂生まではすぐに予想がつかいましたが42飛と思い込んだため、後手の手数が足りず苦勞しました。」

■42飛を先手の角生で代用する。巧妙な解決策でした。

**S. Kimura** 「後手の飛車で先手の歩を取ると予想しましたが、答えが分かりませんでした。」

■飛車ではありませんでした。桂は考えにくい駒だと思います。

**はなさかしろう** 「ユニークな条件付けですね。打歩詰は成立条件が厳しいので簡単かと思いきや...。3段目が守られていない5筋か6筋に玉を立つ手順が本命でしたが、5筋は着手筋条件、6筋は不成条件に阻まれてしまい、頓挫。後手の手数が不足気味なのに玉移動に2手かけ守備の桂を跳ねていくというのが抵抗感ある手順でなかなか思いつかず、大難問でした。」

■お名前もいかにもミステリアスですし、3筋を使った作者、解答者心理まで読んでいるのか?

正解: 9名

鈴木康夫さん はてるまさん  
 はなさかしろうさん はらたっとさん  
 まささん ○術師さん ミニベロさん  
 リーグ戦ファンさん 渡辺さん

**21-2 中級 はてるまさん作**  
**左右対称 13手**

「さっき見た将棋だけど、初手から「76歩、34歩、36歩、74歩」という出だしだね」  
 「へえー、対称形の立ち上がりだね」  
 「さらに詰め上がりが左右対称だったんだ」  
 「ええっ、いったいどんな将棋だったの？」  
 「13手で詰み。9手目に駒を打ってたよ」

(条件)

- ・ 13手で詰んだ
- ・ 初手から「76歩、34歩、36歩、74歩」という出だし
- ・ 詰め上がりが左右対称形（5筋の線対称）
- ・ 9手目は駒を打つ手だった

※ 完全に左右対称にしてください（先手28飛車が残れば、88の駒も先手の飛車）

**出題のことば (担当 タラパパ)**

後手玉は居玉のままで詰みます。かなりの大ヒントのつもり

**推理将棋 21-2 解答 担当 タラパパ**

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀		王		銀	桂	香	
二			金		馬		金			
三	歩	歩		歩	馬	歩		歩	歩	
四			歩				歩			
五										
六			歩				歩			
七	歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	
八					飛					
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 飛歩

▲7六歩、▽3四歩、▲3六歩、▽7四歩、  
 ▲5八飛、▽4四角、▲同角、▽3二金、  
 ▲4一角、▽5二飛、▲5三角成、▽7二金、  
 ▲5二角成 まで13手で詰み

ミニベロ 「推理将棋初期に創られたはてるまさんの名作！私が担当のときは、難問過ぎて使い切れませんでした。今見ても、ヨーロッパの庭園を見るような美しい最終図ですね。中央が噴水のように丸く空いていて感動的です。「9手目は駒を打つ手」が、実力者ならではの一石二鳥の絶妙の限定条件。」

推理将棋の草分けのお一人の作者、寡作家ですがそれだけに質も高く、今月（4月号）解答発表の詰パラの20手作品など発表作は好局揃い。本作は約2年前に作られたもの。当時は今と違って手順限定に拘らない時代でしたので、ヒントが少ない「詰上がり左右対称形」だけの条件でした。

相当考えても14手までしか辿りつけず、正解発表を見てしまった記憶があり、私にとってもたいへん懐かしい作品でした。奇抜なアイデアの秀局だと思います。

どうやって作意に辿り着くのか、解き方の見本となる評がありましたので、そちらから紹介します。

渡辺 「3問中最も易しく（あくまでも今回の3問中で、ですが...）論理的に解ける佳作。残り9手で先手飛の活用は辛いので、お互い飛は真中。また51飛、52玉もつらいので32金、72金も決定、残りの非対称の角の処理は先手の攻め駒とするのが有力で44で角に取らせるのが自然。となれば詰み形は決定したも同然ですので9手目に角が打てるように逆算します。」

■「お互い飛は真中」が決め打てず苦労したのを思い出します。ダメな筋を早く捨てる、これが実は難しい。

○術師 「最初はお互いの角でお互いの飛車を取り合うことを考えましたが、先手の飛車打ちを限定打にすることが難しそうなので方向転換。58飛の遊び手が入るだろうと決め打ち予測をしたら流れるように解けました。9手目駒打

ち条件で後手順限定できたのが綺麗です。」

■9手目駒打ち条件だけで、ビシッと決まりますものね。

**リーグ戦ファン** 「左右対称の詰め上がり、53打ち込みまで、54飛まで、51飛打ちまで等、14手や15手であればいくらでも考えられるところ。この筋が13手唯一なのだとしたら、なんとも奇跡的だというのが印象でした。金を32と72に開く筋は手順の限定が難しいので考えにくいところなのですが、なるほどな解決。」

■今のところ、13手対称形で発見されている唯一の詰上がり。他にはないと思うのですが。

**鈴木康夫** 「居玉で詰むというヒントが無ければ解けませんでした。」

■こちらの問題に関しては、ヒントが効を奏したようです(^)

**S. Kimura** 「後手は居玉のままというヒントから、52に何かが動いて詰むのでしょうが・・・」

■そこまで読めても簡単ではありませんでした。

**はなさかしろう** 「ひと目詰め上がりの玉位置を54と推理するという筋悪ぶり。次に52玉—54飛の合駒なしを本線に探したのですがこれも手が足りず駄目。そこで... なんと、金の撥ね上げでしたか。大ヒントのお蔭でなんとか解けました。ごつい詰め上がりが面白く、9手目駒打ちだけでびったり限定がかかる手順が綺麗でした。」

■「9手目駒打ち」は上手い条件設定でしたねえ。

**高坂研** 「対称性を崩す6手目が想定外。(まささんの51角—54飛の詰上がりりが頭を離れなかったのも敗因の一つ) これまた完敗です。」

■52玉—51角—54飛、強烈な紛れでした。

**竹野龍騎** 「対称といえば、はてるま氏の十八

番ですね。むか～しmixiで解いたような気がするのですが……今回また悩みました。」

■当時の正解者一番乗りが竹野さんでしたね。

正解：10名

鈴木康夫さん 竹野龍騎さん 躑躅さん  
はてるまさん はなさかしろうさん  
まささん ○術師さん ミニベロさん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

## 21-3 上級 三日京さん作

唯一駒取り

21手

「面白そうな古図式だね。なんて書いてあるの」

「後手は銀2枚を含む9枚を取って21手で詰まされるそう」

「しかもそのとき取れる駒は常に1枚だけか。迷わなくて簡単かもね」

「不成り9回、初手は76歩ではない、とあるね」

「先手は連続で同じ駒を使わないのか。これでどうやって詰めるのだろう」

後手は4手目から最後まで、取れる唯一の駒を取り続けました。

どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 21手で詰み
- ・ 後手はその局面の唯一取れる駒を取り続け、銀2枚を含む9枚を取った
- ・ 不成9回
- ・ 初手は76歩ではない
- ・ 先手に連続で着手された駒はない

※ 後手が取れる駒は常に一枚しかありませんが、どの駒で取るかは自由です。

**作者コメント**「条件に沿って駒を取り続けることは簡単ですので、詰形だけを推理していただければ論理的に解けるはずですが」



## 出題のことば (担当 タラパパ)

意外に易しい長編です。後手玉を一手で詰み易い位置に動かす工夫は？

## 推理将棋 21 - 3 解答 担当 タラパパ

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	
二		飛			王					
三	角	歩	歩	歩	龍	歩		歩	歩	
四							歩			
五				桂						
六			歩							
七		歩		歩		歩	歩	歩		
八										
九				金	王			桂	香	

### 持駒 歩

▲6八銀、▽3四歩、▲7六歩、▽8八角不成、▲9八香、▽9七角不成、▲7九銀、▽同角不成、▲7七桂、▽5七角不成、▲5八飛、▽3九角不成、▲6五桂、▽1七角不成、▲3九金、▽同角不成、▲9三香不成、▽同角不成、▲5二歩、▽同玉、▲5三飛成 まで21手で詰み

何手から長編と呼ぶのか、まだコンセンサスがありませんが、自分ではなんとなく16手（中途半端？）くらいかと。

それはともかくとして、推理将棋の長編では必ずある種の特徴的な趣向を持っています。短編の延長では、決して面白いパズルにはなりませんから。

その長編推理将棋の草分けは、「推理将棋」という言葉すらなかった今から15年ほど前、若島正さんが将棋世界誌に連載された「将棋の国のアリス」という読み物でしょうか。分野を問わない面白将棋パズルの宝庫で、推理将棋的なものばかりではなく、「後手は玉を51-52と往復させていただけなのに、40手で後手が勝った（先手玉が詰んだ）。39手目の先手の手は何か？」といった謎解きで、時代を先取りしていました。

閑話休題。本局の骨子は「後手が4手目から駒を取り続けたが、その局面で取れる駒は常に一枚だけ」というもの。あとの条件は手順を完全限定するためだけのオマケ（といってもオマケの中にヒントが一杯詰まってるのですけどね）。

4手目から唯一取れる駒を取り続けるのですから、取れる駒が複数ある時には先手は他の駒を逃がし、取れる駒がない時には供給してあげなければならない。

先手が後手玉を詰ませるための動きができるのは、放っておいても取れる駒が1枚だけの瞬間のみ。しかも「唯一駒取り」条件から、相手の利きに働かせる訳にはいかない。桂の利きに73飛成や、歩頭に歩を打つことができず、あまり手数もかけられないこととなります。

こうした制約の中で考えるほぼ唯一の詰上がりは、52歩、同玉、53飛成とする手順。そのためには角か桂を53に利かせ、58飛と回らなければならない。

後手の指せる手数は10手。2手目と20手目（52同玉）には不成ができないので、不成9回のうち少なくとも1回は先手の不成。その1回は飛び道具で歩の入手。

これらを総合して手順を組んでいくと、案外絞られてきます。

**ミニペロ** 「気を引く条件に鮮やかな詰め上がり。21手引っ張られました。神局「ワーブドライブ」や名作「巡礼の旅」のように、片方に義務条件を付ける手法は、長手数を解図させる有効なガイドだが、本作の「唯一駒取り」は初めてみる条件です。決して難しくはないのだが、前作同様、この作者の「収束を先に見つけないと初手が分からない」という作風は、困ったものです（汗）。」

■気を引くアイデアがいいですね。過去に発表された長編作を見ていくと、共通するのがこうしたアイデア。困ったものとは思いませんが（笑）

**まさ** 「収束形を予想しないとどうにもならず、慣れていないと決して易しくない問題と思っています。収束形を決めると次のポイントは先手の歩の入手方法と、そこでの不成の稼ぎ方。ここまで決め打っても手順は確定しませんが、作意の推理はできます。初手76歩以外と指定しているので、多分3手目は76歩。とすると4手目88角生なので、初手・5手目で99香・97歩・79銀のうち2枚を動かします(98香は詰み手順上必須)。この順番が限定されるとしたら「先手に連続で着手された駒はない」という条件しか理由がなく、必然的に初手と7手目は同じ駒を動かした(もし初手を5手目と入れ換えたら7手目連続移動で条件違反)となります。つまり、96歩、34歩、76歩、88角生、98香、79角生、95歩…、あるいは作意順しかありません。ここまで決め打れば作意は自然に見えてきます。」

■96歩、34歩、97角、77角不成、58玉、99角不成、66歩、同角不成、67玉、57角不成・・・なんて紛れもあるのですが、この順は限定ができません。

**渡辺** 「取りを固定させるための銀往復がにくい。難解作潰し(cf. 高坂さんの有名な10手問題、タラパパさんの12手の問題)の93香を作意にしたのもすばらしい。さて、解ですが先手角は取られる運命なので使えません。74歩(打)から53と、63桂までの順では連続着手が避けられないので65桂から53飛成までですが、52歩を打つ用の歩入手のためのn3香生を角生で取ることの出来る順を探せば」

■まささん、渡辺さんの解法は実に参考になります。ところで、高坂さんの有名な10手問題は判るのですが、私の12手問題って・・・どれでしたっけ？ 余詰を乱発しているので特定できない(泣)

○**術師** 「条件に沿って駒を取り続けること自体が難しく、2週間目一杯考えました。ヒントのおかげで詰み形は見たのですが、43(63)飛不成で歩を入手すると考えてしまったのでハマりました。解けてみて分かりましたが、手順限定に対する条件付けが巧みでした。」

■なるほど、63飛不成はかなり有力ですね。

**リーグ戦ファン** 「52同玉53飛成までの筋は早くに思いついたのですが、どうやっても不成が7回にしかならない。そもそも条件を満たしながら先手の初手と5手目の手順前後を限定する手順がひとつも発見できないことが気持ち悪くて、タラパパさんにクレームを送ってやれ、と、限定できないことの証明を書き連ねているうち、自分の論理の穴(初手に動いた駒を7手目に使えば限定できる)に気付き、一考だにしなければ初手と7手目同駒の組み合わせをいろいろ試して見たら・・・不成8回を発見!その後、93香取りの非限定を解決しようと考えたら、最後まで辿り着きました。ある意味論理的に解いたといえ解いたのですが、ズル解きです、ね、これは。」

■完璧に論理的ですよ。ちなみに、クレームメール歓迎ですから (^)/~

**鈴木康夫** 「自分で解けなかったので解答プログラムを作って解かせました。ただ経過を見ずに局面だけ見ているので、手順前後、取られた駒の成生の区別がつかえません。そこだけは人力で修正しました。」

■す、凄い!解答プログラムまで作ってしまうとは。すると完全性が保証されたのかな?

**S. Kimura** 「最初は97角・58飛として詰ませることばかり考えていました。ふと、初手76歩とするとどうなるかを考えたところ、89桂ぐらいしか動かすものがない局面に行き当たり、ようやく77桂・65桂の2段活用に気付きました。」

■まささんのところで書いた順ですね。私もしばらくハマった紛れ(汗)

**はなさかしろう** 「先手角の活用は手順非限定で断念。そこで53に飛桂を利かせて52歩、同玉、53飛成まで、というのは直ぐに想像がつくのですが、歩一枚の調達に延々悩むことに。63飛不成がどうしても実現できず、香で取れる可能性に気付いたのは最後の最後でした。一直線に詰みに向かわないため焦点が絞れない難問でしたが、並べてみると後手角の暴れっぷりも収束の手順も93香不成の一手のためにあるかのようで、詰め上がりでは勝った先手陣の荒廃ぶり

も面白く、物語を感じる作品でした。」

■そうなんです。この紛れ順では手順限定がまったくできないので、すぐに抜けるべきなのですが。

**高坂研** 「後手が駒取りをしている間に、巧妙に玉を仕留める算段をする先手。見事です。」

■検討もしっかりなされていてこれだけの作品。相当な実力者とお見受けします。次回はどんな作品を見せてくれるのかワクワクします。

---

正解：10名

S. Kimuraさん 鈴木康夫さん 躑躅さん  
はてるまさん はなさかしろうさん まささん  
○術師さん ミニベロさん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

---

## 総評

**ミニベロ** 「今回はオール上級の手応えですね。とはいえ、啓蒙作ばかりではなく、これからはこの程度の難度はこなしていけないと。解答者一桁の予想が外れることを祈ります。」

■お陰さまで2桁を確保できましたが、今後この難易度は減多にない・・・つもりです(笑)

**○術師** 「解答投稿もまだ3回目ですが、今回の第21回は自分が出題者でもあり、今までとは違った感触で解きました。自分の出題で1問解答確保のつもりが全て解けたので自分でも驚きました。特に21-3は全く解けずに困っていたところ、眠る寸前に盤駒で並べていた手順が何だか奇跡的にうまくいきそうという感触になりました。が、とにかく眠たかった日なので手順だけメモして休みました。起きてから並べなおしてみてもうやら解答できたらしいことが分かり嬉しかったです。」

■いわゆる「閃き」ですね。特に推理将棋には、悩んでいても天啓のような閃きで、一瞬で

解けてしまう場合があります、その時は痛快の一語に尽きます。

**リーグ戦ファン** 「今回の問題は歯ごたえがありすぎです。どの問題もとりかかってから3日以上を費やしました。仕事の妨げになるので、ホドホドの問題に願いたいです・・・」

■リーグ戦ファンさんには適度の難易度でしょう。私が解答者なら迷惑この上なし。易しい問題がなかったというのが真相なのですが。

**鈴木康夫** 「仰る通り、今回は難問ぞろいでした。」

■「私は嘘は申しません」・・・って、昔々、大嘘つきの政治家が言ってたような。

**S. Kimura** 「今回は難問ばかりで弱りました。最後に21-3の答えが見つかりましたので、どうか答えを送ることが出来ます。残りの解答を楽しみにしています。」

■難問揃いの出題にならないよう、易しめの作品の投稿を皆様をお願いします。

**はなさかしろう** 「今回は物凄く難しく、なんとかメッキリぎりですべり込み提出です。今回は従来の切れ味鋭い短手数作品とはひと味違った趣向の濃い作品揃い。長手数で難しくても面白いジャンルだと思います。」

■今後も少しずつ長手数作品も出題してみようかと。

---

推理将棋第21回出題全解答者： 13名

S. Kimuraさん 高坂研さん 鈴木康夫さん  
竹野龍騎さん 躑躅さん はてるまさん  
はなさかしろうさん はらたっとさん  
まささん ○術師さん ミニベロさん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

当選： はてるまさん

おめでとうございます。

## カピタン展示室 No.23

・ 2009年4月1日開催

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
龍	馬								一
									二
									三
							香	王	四
							歩		五
									六
									七
									八
								歩	九

持駒 香

出題時のコメント：

たまには変わった詰将棋でも ==> カピタンリバイバルへ

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/kapitan/index.htm>

### アンチキルケ

駒取りを行った場合、駒取りをした駒は最も近い初期位置に戻る。

### 協力詰 (ばか詰)

先手後手協力して、最短手順で後手玉を詰ます。

カピタンリバイバルは、変則将棋・変則詰将棋のコーナーですが、将棋にとどまらず、中将棋や中国象棋の詰将棋から詰碁などいろいろなゲームの詰めものまで広く扱っています。

変則将棋とは普通の将棋とどこかを変えた将棋で、安南将棋や衝立将棋が有名です。変則詰将棋も同様に普通の詰将棋とどこかを変えた詰将棋で、チェスの Fairy Chess から名前を取ってフェアリー詰将棋と呼ばれています。こちらは、協力詰 (ばか詰) が一番知られているでしょうか。

アンチキルケルールはチェスの AntiCirce を将棋に適用したもので、2005年2月に若林さ

んによって提案された、フェアリー詰将棋の中では新しいジャンルです。

「駒取りを行った場合、駒取りをした駒は最も近い初期位置に戻る」というのが基本的なルール。例えば15香、同金と取ると、香は普通に後手の持駒になりますが、取った駒 (金) は取ると同時に初期位置である41に移動します (61も初期位置だが、61より41が近いので)。これを同金/41金のように記述します。

本作を理解するために重要な補足ルールが二つ (詳しくはアンチキルケルールを参照)。

一つは「成駒は成ったまま戻る」。例えば、15香、同龍と取ると、龍は成ったまま82に移動します。

もう一つは「初期位置に駒があり、戻れない駒は戻らない」。例えば、16香、15歩合、同香と取ると、戻るべき19には既に19歩があるので、この場合は香は15にそのまま残ります。

さて、本作はアンチキルケルールの協力詰。協力詰は「先手後手協力して、最短手順で後手玉を詰ます」もの。つまり、王手しながら両方の駒を (ルールは守って) 好きなように動かして7手で詰んだ局面を作れば成功です。

ここまで来ないと解き始めることができないので、はじめての方にはハードルが高かったと思います。

アンチキルケはおもしろい問題が多いので、この機会に本作の解説を読んでおぼえてしましましょう。

シンさんは初登場の作品も簡潔な初形のアンチキルケ協力詰でした。

第2弾の本作も初手が香打しかなく手が狭いので、考えやすい問題です。

アンチキルケで重要なのが51玉と移動できないようにすること。

王手して同玉と取られると玉は51に移動してしまうので、これを防止する意味ですね。

71の角が移動すれば91龍が51に利いてくることを考えれば、18香、17龍、同香、同角という順が浮かんできます。

17同香は19が塞がっているので香はそのまま

ま残ります。

しかし、17同角は角が初期位置の22に移動します。この移動がなければ13飛の一発(51に龍が利いているので同玉とは取れない)なのですが・・・

この先はアンチキルケに慣れていないと思いつくのは難しいので、正解を見てみましょう。

### 18香、17龍、同香、同角成／22馬、11龍、12馬、13飛 まで7手

協力詰では後手は詰みやすいように不成が普通。本作では常識を裏切って17同角成／22馬。そのココロは12馬とするためです。でも13飛で詰んでいるのでしょうか。

13飛に同玉／51玉は龍が利いているのでできません。13飛に同馬／22馬は11龍が14に直結するので、これもできず、結論として13飛まで詰みということになるのですね。アンチキルケ特有の詰上りです。

#### 作者：

7手ですが、紛れが少ないので簡単だと思います。でも、そんな中に角成というピリリと香辛料のきいた手があるのでまあまあでしょうか。「アンチキルケって面白い」と思ってもらえれば嬉しいです。

「ルールで敬遠されないか心配ですが・・・。」との作者の心配通り、アンチキルケがはじめての人には大変だったようですが、7名様から解答をいただきました。今回パスされた方も、本作を見ておもしろいなと思ったら、次回はぜひ挑戦してみてください(手順はこちらでご鑑賞ください)。

それでは、みなさんの感想を。 解答到着順です。

#### 神無七郎さん：

フェアリーでは「成」が妙手であることを再確認させてくれる作。序をもう少し何とかして欲しい気はしますが、北村手筋の面白い応用例だと思います。

北村手筋については、たくぼんさんのアンチキルケばか詰入門の第5回をごらんください。

#### 広瀬稔さん：

解くのに非常に苦労した。12馬が盲点でした。

#### 小峰耕希さん：

懐かしい北村手筋。初形で仕掛けが見え見えな感じなのが惜しい所。

#### たくぼんさん：

この詰上りは慣れないと気付かないでしょう。作者の感性がうらやましい。

#### S. Kimuraさん：

17角不成ばかり考えていたので、答えが全く見えませんでした。

#### 隅の老人Bさん：

最後の飛打が光る。取るに取られず、アレマア。

-----  
カピタン展示室No. 23 解答：7名  
全員正解

S. Kimuraさん 神無七郎さん 小峰耕希さん  
隅の老人Bさん たくぼんさん 躑躅さん  
広瀬稔さん

(お詫び) 先月号で出題稿を載せるのを失念してしまいました。申し訳ありませんでした。

# フェアリー煙詰総まくり 4

フェアリー煙詰総まくりの第4回はちょっと特殊なルール煙詰特集です。ミニ詰、強欲詰、対面詰、天竺自殺詰、最悪詰、ミニばか詰となっています。強欲詰を除いては最近では余り見かけないルールですが、各ルールとも煙詰が発表されたのは1作のみという稀少作品ですのでルール共々勉強しながら鑑賞頂ければと思います。

それにしても何回も言うが出口氏、左氏はスゴイ！ですね。当時解答者としてリアルタイムで解図したかったなあ。

またこの種のルールに挑戦する若者を見てみたい気がします。(えっ！お前がやれって・・・無理無理

## ミニ詰

最近ではほとんど見ることの無いルールではあるが、「玉方は最短距離動くように応手するもので、合駒を打つ手は移動距離1」というルール。マキシの逆である。ミニ詰の煙詰の発表作は唯1つそして傑作である。

### 13. カピタン 1982年12月 出口信男作 ミニ詰 161手 第10回前衛賞特別賞佳作

9 8 7 6 5 4 3 2 1

	と	と	と	と		銀		笛	一
銀					歩	歩	と		二
歩	歩	歩	歩		歩	角	と		三
香			桂			桂	と		四
香							と	と	五
飛	飛						と	と	六
						金	銀		七
	金	桂	香	桂	香				八
	金	金				王	銀		九

持駒 なし

38 金 49 玉 39 金 同玉 28 銀 49 玉  
38 銀 59 玉 69 金 同玉 79 金 59 玉

69 金 同玉 99 飛 79 金 同飛 同玉  
89 金 69 玉 79 金 同玉 89 飛 同玉  
88 角成 同玉 99 金 78 玉 89 金 68 玉  
79 金 58 玉 69 金 48 玉 59 金 38 玉  
49 金 28 玉 39 金 18 玉 17 と 同玉  
16 と引 18 玉 17 と 19 玉 18 と 同玉  
29 金 17 玉 27 と 同玉 38 金 17 玉  
28 金 16 玉 26 と 同玉 37 金 16 玉  
27 金 15 玉 25 と 同玉 36 金 15 玉  
26 金 14 玉 24 と 同玉 35 金 14 玉  
25 金 13 玉 23 と 同玉 22 桂成 13 玉  
23 圭 同玉 34 金 13 玉 24 金 12 玉  
22 銀成 同玉 13 金 21 玉 31 歩成 同玉  
42 歩成 21 玉 22 歩 同馬 32 と 同馬  
12 金 31 玉 41 と 同玉 52 桂成 31 玉  
42 圭 同馬 22 金 41 玉 51 と 同玉  
62 歩成 41 玉 52 と 同馬 32 金 51 玉  
61 と 同玉 72 歩成 51 玉 62 と 同馬  
42 金 61 玉 71 と 同玉 82 歩成 61 玉  
72 と 同馬 52 金 71 玉 81 銀成 同玉  
92 歩成 71 玉 82 と 同馬 62 金 81 玉  
92 香成 同馬 72 金 91 玉 81 金 同玉  
92 香成 71 玉 82 杏 61 玉 72 杏 51 玉  
62 杏 41 玉 52 杏 31 玉 42 杏 21 玉  
32 杏 11 玉 33 角 12 玉 22 角成  
まで 161手

★ 37 金消去の伏線や飛角をたたき切る強手も入りミニ詰特有の趣向手順から見事な収束と何もいうことがない傑作。161手って・・・ありえないでしょ。解答者の声を聞くだけでその感動が伝わってくる。

護堂—感動の声しか出ない。

花沢—すばらしいです。

飯島—経緯の織りなす錦繡は目を欺くばかり。

山田—夏木立型を含む3つの横追い、かわった金ノコのタテ追いを組み込んだケムリの大傑作。ミニ詰でこんな芸当が出来るとは思わなかった。

## 強欲詰

「攻方・受方とも、駒取りの手があるときは駒を取る手を優先する。」というルール。最近私も強欲ばかり詰を発表しているが、意外と奥が広く面白いルールだ。かしこの強欲詰としては発表作は1作のみ。このルールはかしことばか詰の違いが一番距離が近いという気がします。

### 25. 詰パラ 1987年4月 山田康平作 強欲詰 75手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
角	と	と	と	と	と	と	と	と	一
と	と	と	と	と	と		と	と	二
と	と			角		杏			三
飛						杏		杏	四
飛						杏			五
							銀		六
		金	金	全					七
	香		金	全	全		圭	圭	八
	玉					圭	圭		九

持駒 なし

99 飛 同金 同飛 同玉 98 金 同玉  
97 角成 同玉 87 金 同玉 78 金 同玉  
77 金 同玉 68 全 同玉 67 全 同玉  
58 全 同玉 48 圭 同玉 39 圭 同玉  
29 圭 同玉 28 圭 同玉 37 銀 同玉  
36 杏 同玉 35 杏 同玉 34 杏 同玉  
24 杏 同玉 23 と 同玉 13 と 同玉  
12 と 同玉 22 と 同玉 21 と 同玉  
32 と 同玉 31 と 同玉 42 と 同玉  
41 と 同玉 52 と 同玉 51 と 同玉  
62 と 同玉 61 と 同玉 72 と上 51 玉  
61 と 同玉 72 と 同玉 71 と 同玉  
81 と 同玉 82 と まで 75 手

★ 詰パラ・フェアリーランドの例題で発表されたので感想等もないが歴史的には価値のある1作。解くのはさほど難しくはないのが解答者としてはたまらない。無防備図式にはならなかったのかと思うがどうなのでしょう？

## 対面詰

「敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる」という対面ルール。結構メジャーなルールではあるが、最近あまり作品を見なくなりました。そして対面詰の煙詰の発表作もただ1作。

### 29. 詰パラ 1997年11月 左真樹作 対面詰 89手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
進	香	香	香	玉		角		香	一
と	桂	角				歩			二
香	銀			桂	香		入		三
銀				歩	桂	香		香	四
			歩	香				香	五
皇	と	歩		香		香	歩	歩	六
銀	歩		入					香	七
入	皇			皇					八
								飛	九

持駒 なし

43 桂生 62 玉 61 桂成 同玉 71 角成 同玉  
81 桂成 同飛 同と 同玉 91 飛 同玉  
92 銀成 同玉 93 銀成 91 玉 92 全 同玉  
93 歩 同玉 94 歩 同玉 95 と 93 玉  
94 と 92 玉 93 と 91 玉 92 と 同玉  
93 歩 同玉 94 歩 同玉 95 歩 同玉  
96 銀 同玉 97 香 同と 同角生 87 玉  
88 角 76 玉 77 歩 同と 同角 65 玉  
66 歩 同金 同角 54 玉 55 金 同金  
同角 43 玉 44 金 同金 同角 32 玉  
33 金 同と 同角生 21 玉 11 角成 同玉  
12 銀 同玉 13 香 同玉 14 香 同玉  
15 歩 同玉 16 歩 同玉 17 飛 26 玉  
27 歩 同金 同飛 56 玉 57 金 同杏  
同飛 同玉 58 香 同玉 59 桂 まで 89 手

★ 対面詰特有の趣向をメインに実に美しい煙詰。対面詰では詰上り2枚が可能であるのでこの美しい詰上りが実現する。

駒井信久一趣向手順を中心とした構成で、鮮やかという印象である。見事という他ない。

中村剣一生まれて初めて解いた煙詰。この詰上りは一輪の薔薇のように美しい。

## 天竺自殺詰

「玉（王）の利きが、王手をした駒の利きになる。」という天竺（鏡）ルール。ばか系ではないので完全作を創るのはかなりの難度と推測する。そして発表作はこれも唯1作。

### 12. カピタン 1981年6月 出口信男作 天竺自殺詰 110手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と	と	香	角	角	銀	銀	銀	銀	一
		歩	香	香	香	香	香		二
		香	桂					飛	三
香	と	入		と	と	と	歩		四
飛						と	と		五
		桂				香			六
香							王		七
		桂			金				八
	香	金	香	香	香		王		九

持駒 なし

26 と 同玉 25 と 27 玉 26 と 同玉  
 37 金 同玉 97 飛 同玉 88 金 96 玉  
 87 金 95 玉 85 金 同と 94 と 同玉  
 86 桂 同と 95 歩 同玉 86 金 94 玉  
 85 金 93 玉 92 と 同玉 84 桂 同歩  
 93 歩 同玉 84 金 92 玉 91 と 同玉  
 92 歩 同玉 83 金 91 玉 81 桂成 同金  
 82 金 同金 同香成 同玉 93 金 81 玉  
 71 歩成 91 玉 81 と 同玉 72 角生 同玉  
 63 香成 同歩 同と 71 玉 72 と 同玉  
 83 金 71 玉 62 角生 同玉 53 香成 同歩  
 同と 61 玉 62 と 同玉 73 金 61 玉  
 52 銀生 同玉 43 香成 同歩 同と 51 玉  
 52 と 同玉 63 金 51 玉 42 銀生 同玉  
 53 金 41 玉 32 銀生 同玉 43 金 31 玉  
 22 銀生 同玉 33 金 21 玉 11 飛生 同玉  
 22 金 同玉 23 歩生 同玉 24 歩 同玉  
 25 歩 同玉 26 歩 同玉 27 歩 同玉  
 28 歩 同桂成 まで 110手

★ 詰上りは見えているとは言えこの趣向入りの手順は何と言ったらいのだろう。天竺ルールらしさも十分堪能できる。

担当者一ついに出た！天竺自殺の煙である。と金消去に始まり、9筋へ横っ飛び。歩、と金を消しながら金で押して下段に落としてからは1サイクル10手の軽快な横追趣向。最後は飛金を捨てて、歩タタキでつり上げ還元玉の詰上り、と中身の濃い煙詰。

## 最悪詰

「攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。」という最悪詰。最近よく見かけるルールです。最近の方にもおなじみでしょう。そしてこのルールも発表作は1つ。そしてまたもや作者は出口氏！

### 14. カピタン 1982年12月 出口信男作 最悪詰 91手 第10回前衛賞特別賞佳作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	と	と							一
		歩	歩	歩	歩	歩	香	歩	二
王		と	と	と			歩	王	三
	歩					と	と	桂	四
銀	飛		金				桂	桂	五
銀	香				と	と	と		六
銀	香	金	金					桂	七
	銀	香	龍						八
角		馬	金						九

持駒 なし

94 銀 同玉 95 銀 93 玉 94 銀 同玉  
 95 飛 同玉 96 銀 同玉 97 銀 95 玉  
 96 銀 同玉 97 馬 同玉 88 角 同玉  
 79 龍 同玉 69 金 同玉 68 金 同玉  
 67 金 同玉 66 金 同玉 56 と 同玉  
 46 と 同玉 36 と 同玉 35 と 同玉  
 34 と 同玉 33 桂成 同玉 25 桂 34 玉  
 33 桂成 同玉 43 と 同玉 53 と 同玉  
 63 と 同玉 73 香成 同玉 83 歩成 63 玉



73 と 同玉 83 香成 63 玉 73 杏 同玉  
 83 香成 同玉 82 と 同玉 81 と 同玉  
 71 歩成 同玉 61 歩成 同玉 51 歩成 同玉  
 41 歩成 同玉 31 歩成 同玉 21 香成 同玉  
 22 歩生 31 玉 21 歩成 同玉 11 歩成 同玉  
 23 桂生 21 玉 31 桂成 11 玉 21 圭 同玉  
 22 桂成 まで 91 手

★最悪詰の煙詰は解くのはさほど難しいことではないが、創るのは桁違いの難しさがある。この作品の後にも先にも最悪詰の煙詰は発表されていないのがそれを証明している。とにかく出口氏の創作力には驚きである。

飯島ルールそのものが無防備煙の為にあるかのような印象を与える。出口氏の創作力はスゴイのひとこと。

担当一たしかに、この作を見れば、「最悪ルール」が煙にピッタリのものである事が良くわかる。だが、この作が出現すまでは、そんな事、誰も、思ってもみななかったのだ。

**ミニばか 詰**

ミニ詰は「玉方は最短距離動くように応手するもので、合駒を打つ手は移動距離1」というルール。マキシンの逆である。ミニばか詰の煙詰の発表作はミニ詰同様唯1つそしてこれも傑作である。

**15 . カピタン 1982年 12月  
 出口信男作 ミニばか詰 159手  
 第 10 回前衛賞特別賞次点**

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			と						銀	一
					銀	銀	銀		歩	と
	と		桂	と	桂		王	桂		三
	と	と				歩			飛	四
	馬	と	桂							五
			香							歩
			馬	飛	と		と			香
	王	香		歩	金	歩	歩	と		八
		歩		金	金			金	香	九

持駒 なし

87 馬 99 玉 98 馬 同玉 97 飛 同玉  
 96 馬 同玉 95 と引 97 玉 96 と 98 玉  
 97 と 99 玉 98 と 89 玉 79 金 同玉  
 69 金 同玉 59 金 同玉 58 と 49 玉  
 39 金 同玉 29 と 49 玉 39 と 同玉  
 29 飛 同玉 28 と 19 玉 18 と 29 玉  
 28 と 同玉 27 と 38 玉 37 と 同玉  
 47 と 27 玉 37 と 17 玉 27 と 18 玉  
 17 と 28 玉 27 と 38 玉 37 と 48 玉  
 47 と 58 玉 57 と 68 玉 67 と 78 玉  
 77 と 同玉 87 と 78 玉 77 と 88 玉  
 87 と 同玉 86 と 同玉 85 と 96 玉  
 95 と 同玉 94 と 85 玉 84 と 同玉  
 83 桂成 85 玉 84 圭 86 玉 85 圭 76 玉  
 75 圭 66 玉 65 圭 56 玉 55 圭 46 玉  
 45 圭 36 玉 35 圭 26 玉 25 圭 16 玉  
 15 圭 26 玉 25 圭 36 玉 35 圭 46 玉  
 45 圭 56 玉 55 圭 66 玉 65 圭 同玉  
 64 と 同玉 63 銀成 54 玉 64 全 55 玉  
 54 全 45 玉 44 全 35 玉 34 全 25 玉  
 24 全 15 玉 14 全 同玉 13 と 同玉  
 12 銀成 同玉 11 桂成 同玉 21 歩成 同玉  
 31 銀成 同玉 41 桂成 同玉 51 銀成 同玉  
 61 桂成 52 玉 51 圭 62 玉 72 と 63 玉  
 73 と 53 玉 52 圭 同玉 63 と 51 玉  
 62 と 41 玉 52 と 31 玉 42 と 21 玉  
 32 と 11 玉 22 と まで 159手

★無防備双玉煙詰。とにかく尻金で盤面全体を追い回す手順は圧巻。159手という長手数も驚きだ。

山田一貫して腹と尻から追うことで煙の難条件を達成している。また双玉図式でなければ不可能だったかもしれない。とにかく作者の努力に敬意を表わしたい。

矢部一 76 香、54 歩、16 歩などじゃま駒を巧く配してチェの輪的な趣向手順を導き出している。これまた傑作。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

5 月 20 日 (水)

**詰将棋メモ 推理将棋第22回出題**  
**\* 推理将棋 3 題**

5 月 30 日 (土)

**Onsite Fairy Mate 147 回出題**  
**\*PWC 協力詰 1 題**

6 月 15 日 (月)

**第 6 回詰四会フェアリー作品展**  
**\* フェアリー詰将棋 12 題**

6 月 15 日 (月)

**第 9 回WFPフェアリー作品展**

## 投稿募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の投稿募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。投稿先は各々異なりますのでお間違えにないように。

7 月 15 日 (水)

**Fairy of the Forest #20**

課題：単玉の無防備図式の協力詰

宛先→酒井博久 ( sakai8kyuu@hotmail.com )

## あとがき

早いもので WFP を発刊して来月で満 1 年になります。ほとんど手探り状態でやってきましたが何とかここまで続けられたというのが実感です。フェアリー作品展担当の紅月さん初めたくさんの方々の協力あってのことです。改めて御礼申し上げます。

ネットで配信ということで、少々の間違いはすぐ訂正できるという利点を最大限利用している感じはしますが、今後ともこの調子でいくことになりそうです。

今後は、新しい企画をどんどん考えて実行していきたいと考えています。たとえば昨年 OFM 出題であったような、紛れ最多のばか詰を創るといった創作コンテストのようなものや、同じようなものですが TTT のフェアリー版など。

新しい企画に関する要望や意見がありましたら気楽に私宛にメール頂ければと思います。多分すぐに飛びついて実行すると思います (笑)

詰将棋全国大会まで 2 ヶ月を切りましたね。私も今の所参加の予定です。中京地区ですので、出来れば隅の老人 B さんと太郎さんとかお会いできればと思っていますがどうなることか。名古屋城を見て、味噌煮込みうどんを食べよう買って・・・他には何があるかな

たくほん

2009 年 第11号

**Web Fairy Paradise**

非売品

平成二十一年五月号

平成二十一年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp